



コンパクトシティを目指す夕張メロンの里 夕張市



夕張市基礎データ

総人口	6,464人 (R 5. 10末)	製造品出荷額	5,565百万円 (R 3 経済センサス)
老齢人口	3,525人 54.32% (高齢化率 R 5. 10末)	卸・小売年間販売額	5,980百万円 (R 3 経済センサス)
世帯数	3,924世帯 (R 5. 10末)	一般会計規模	11,008百万円 (R 5 当初予算)
人口密度	8.47人／km ²	市の木	サクラ
面積	763.07km ²	市の花	ツツジ
農業産出額	2,557百万円 (R 4 年度)		

夕張市の紹介

夕張市は、北海道のほぼ中央、空知地方の南部に位置し、札幌市・新千歳空港・苫小牧市から概ね60kmの圏内にある山間のマチで、東京23区の総面積より大きい市の面積の9割は林野で占められています。

平均標高230mの丘陵傾斜地となっており、夕張山地に源を発する夕張川及び、その支流が市内のほぼ中央を貫流し、流域に沿ってYの字型に集落が形成されています。地形的な影響から四季及び昼夜の気温の変化が著しく、石狩湾から流れる雪雲により度々大雪に見舞われることから、豪雪地帯に指定されています。

石炭産業の推移

夕張市の歴史を記すうえで石炭産業は切り離すことができません。

明治21年北海道庁技師の「坂市太郎」氏がシホロカベツ川上流に石炭の露頭を発見したことにはじまり、明治23年最初の炭鉱が開発

されてから次々に炭鉱が開鉱します。

昭和12年、夕張町開基40周年に日華事変が勃発し、そのため石炭は一層重要な資源として増産されました。良質豊富な石炭を採掘し、国内のエネルギー供給基地として飛躍的な発展を続け、マチの人口は、昭和15年64,998人、昭和18年73,953人となり、同年岩見沢市とともに全道9番目の市となりました。その後も人口の増加は続き、昭和35年4月には116,908人で、本市最多の人口となったところでした。



しかしながら、昭和34年に始まった国の石炭鉱業合理化政策により、最大で17あった市内の炭鉱は、閉山・合理化が続き、昭和51年からの新石炭政策により国内炭の需要が減少

したことから、さらに市内の炭鉱の閉山が進みました。

大手炭鉱の従業員は1,500~2,000人規模で、これが閉山になると4分の3の人々は、市内に職を求められず家族ともども市外へ転出していったことで、この間急速に人口が減少しました。

平成2年3月、本市にあった最後の炭鉱が閉山したことで、本市の石炭産業は完全に消滅し、現在市に点在するいくつかのズリ山（ぼた山）が当時の面影を残すものとなりました。

特産の夕張メロン

夕張市を語るもうひとつの重要なアイテムは、『夕張メロン』です。

本市の農業地域は、四方を山岳に囲まれた地勢から、農地は夕張川など中小河川沿いに帯状に拓け、河川流域以外農耕適地を求められない土地条件から、耕地規模は零細で農業条件は恵まれていないものでした。

また、農業中心地である沼ノ沢は標高175mであり、周囲を山岳に囲まれた環境から、最低気温と最高気温の気温差が著しく、農地の大半が樽前系火山灰におおわれ、地力の低い粗粒火山性土でありました。



こうした環境の中で、昭和30年前後より本市の自然条件、環境に即応した農業振興が模

索され、当初は、地域特性を生かし、特異性と収益性を備えた特産そ菜づくりを行うため、メロン、アスパラガス、長芋、いちご（後年きゅうりを追加）を特産そ菜として選定、農業者、農業関係団体一体となった特産そ菜づくりがスタートしました。

なかでも、メロンは昭和35年にメロン組合が結成され、昭和36年にアールスメロンとスパイシー種の交配に成功し、一代雑種の「夕張キング」が誕生しました。以来、良品質の生産技術と農協共販体制の確立など生産者をはじめとする多くの関係者の尽力により、全国に名をはせる本市の基幹作物として成長したところです。

令和5年5月に札幌市で行われた初競りにおいては、2玉350万円という最高の評価もいただきました。これからも最高の味を全国に届けるべく努力を重ねていきます。

夕張市の観光

次の3点を紹介します。

①マウントレースイスキー場

札幌から60キロメートル、新千歳空港から55キロメートルと日本各地や世界各国からのアクセス抜群なスキー場です。

最長滑走距離3,200メートル、最大斜度43度。オールニーズに特化した全17コースで、大人から子供まで楽しむことができます。



マウントレースイならではの上質なパウダースノーは、スキーヤーやスノーボーダーから根強い人気があり、夕張の冬を思う存分満喫できます。

②夕張市石炭博物館

夕張市の炭鉱の歴史を今に伝える博物館です。日本の発展を支えてきた北海道の石炭産業の歴史を伝えるとともに、炭鉱とともに歩んできた夕張市の歴史を当時の映像や実際に使用していた機器を展示して、見て、感じて、考える博物館になっています。

なお、模擬坑道部分は令和6年度中の再開を目指し現在復旧工事中です。

③滝の上公園

夕張の四季を楽しむなら、滝の上公園がおすすめです。



長い年月をかけて夕張川の浸食によりできた渓谷は奇岩や大小無数の滝からなり、圧倒的な迫力と自然の力強さをうかがうことができます。

春は桜、夏は木々の緑、秋は紅葉と四季折々で表情を変えます。なんといっても竜仙峡や千鳥ヶ滝と一緒に楽しむことのできる紅葉は北海道内でも有数の名所となっております。

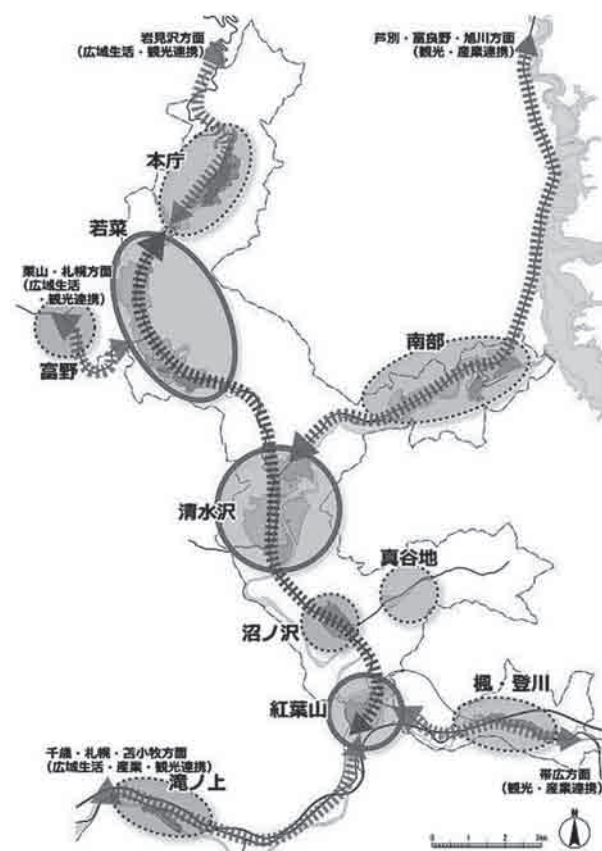
新千歳空港から車で約40分とアクセスも良好で、夕張の豊かな自然を身体いっぱい楽しむことのできる魅力あふれる公園です。

コンパクトシティに向けて

夕張市では少子高齢化、人口減少が進んでいます。

このことを踏まえ令和2年度に今後のまちづくりの指針となる『まちづくりマスタープラン』をリニューアルしました。

まちづくりの基本理念を「夕張の歴史文化・自然環境の保全と継承」、まちの将来像を「安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり」とし、安心して夕張に住み続けることができるコンパクトシティの形成に向けて今後のまちづくりを進めていきます。



夕張市の四季



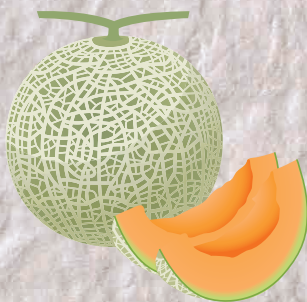
【春】滝の上発電所と桜



【夏】夕張メロン 初収穫



【秋】石炭博物館



【冬】シューパー湖と夕張岳